

令和5年度シラバス

言語聴覚士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
生涯発達心理学		講義	本多 晶子	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
30 時間 (2 単位)		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
胎児期から出生・成長・成熟・老化そして死というヒトの生涯にわたる発達変化を、心理的な側面から、11の段階に分けて理解することを目的とする。いくつかの発達理論・アタッチメント理論を基盤に、ヒトの生涯をその段階での重要な変化やテーマを、事例あるいは自分の経験を通して理解できるように説明していく。				
授業の到達目標				
心理的発達を生涯にわたる心理的变化と捉え、それぞれの段階の変化とテーマを発達理論を通じて、全体的に理解する。その際、事例や自身および自身の周囲の人との経験を積極的に材料にして学ぶ。				
授業計画				
回	内容			
1	オリエンテーション・発達の捉え方 発達とは何か・発達を規定する要因			
2	発達理論 (1) 認知的/道徳的発達理論～ピアジェとコールバーグ			
3	発達理論 (2) 社会文化的発達理論～ヴィゴツキー			
4	発達理論 (3) 心理社会的発達理論～フロイトとエリクソン			
5	愛着理論～ボウルビイ他			
6	胎 児 期	体内環境の重要性		
7	新 生 児 期	新生児の眠りと大人の眠り/子どもの有能性		
8	乳 児 期	養育者の応答性/関係性の経験		
9	幼 児 前 期	コトバの獲得と自己中心的世界		
10	幼 児 後 期	脱中心化と遊びの展開		
11	児 童 前 期	具体的操作と仲間関係		
12	児童後期 (思春期)	形式的操作と達成動機		
13	青 年 期	自我同一性の確立とモラトリアム		
14	成 人 初 期	就労、結婚、親になること・中年期の危機		
15	中・老年 期	育てるということ/その知的能力と死の受容・まとめ		
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	70%	発達過程の理解・用語の理解		
レポート・課題	30%	各講義の後に提出		
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載	講義資料を配布			
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
よくわかる発達心理学 第2版	無藤隆 他	ミネルヴァ書房		
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
誕生を記憶する子どもたち	デーヴィッド・チェンバレン	春秋社		
子どもとことば	岡本夏木	岩波新書		
生涯発達心理学のすすめ	子安増生	ゆうひかく選書		
自由記載				
備考				